

# アイヌ民族文化研究センターだより NO.26

2007年3月

山田秀三<sup>ひでぞう</sup>文庫の資料から

浦河町の「チノミシリ」(資料番号YF0440 / 1979年撮影)



企画展「アイヌ語地名を歩く」

平成19年度は

苫小牧市・室蘭市・伊達市で

開催します

詳しくは8ページをご覧ください

「チ・ノミ・シリ (chi-nomi-shir 我ら・礼拝する・山) の意。諸地で、山や断崖の処が神の居所としてこの名で呼ばれ、崇敬されている場合が多いが、従来浦河のこの辺を通ってもそれらしい地形が見当たらないので変だと思っていた。

〔中略〕古老浦川夕レ媼に聞いたら、乳呑川<sup>ちのみ</sup>の東岸の山が海に突き出している処だった(国道235号線を通すため、その尾根の根もとが切り通しになって、独立丘の形になっている)。

ここでパセ・オンカミ(重い・礼拝)をする時は、元浦川の<sup>おぎふし</sup><sup>さまに</sup>狹伏から様似までのコタンの長老が丘上に集まり、めいめいのイナウ(木幣)を立ててお祭りをした処だという。ここの場合のチノミシリは、礼拝の対象になる山ではなく、「礼拝の場所であった」山なのであった。」

(山田秀三『北海道の地名』草風館、2000年)

上は、日赤病院(写真中央の大きな建物)を望む山上から東向きに写したもの。その向こう、独立丘に見えるところが「チノミシリ」。

下は麓の国道から写したもの。

写真上部の文字は山田秀三氏による。

### もくじ

山田秀三文庫の資料から

浦河町の「チノミシリ」…………… 1

『ポン カンピソシ』の写真から [2]

復活した登別の儀式…………… 2

フィールドからデスクから

「ピリカ ピリカ」はアイヌの歌? …… 3

平成19年度から公開する資料…………… 4

寄贈を受けた資料…………… 6

お知らせ…………… 8

## 『ボン カンピソシ』の写真から [2] 復活した登別の儀式

当研究センターは、1995（平成7）年度から2004（平成16）年度まで、毎年1冊ずつテーマを定めて、アイヌ文化を紹介する小冊子『ボン カンピソシ』を発行してきました。このコーナーでは、小冊子に掲載した写真の中から、毎回1枚の写真を取り上げ、紙面には盛り込めなかった説明などを補いながら、小冊子の中身を広げていきます。



これは、アイヌの伝統的な信仰について取り上げた小冊子5「祈る」の、5ページに載せた写真です。

小冊子では、明治時代ごろから同化主義の圧力などにより伝統的な儀式が急速に減少していったことを述べた上で、近年の動きとして、アイヌ文化の復興・継承の気運に伴い、昔の儀式が復活したり、新たに行われたりしていることを紹介しています。

この写真は、その一例として、「北海道ウタリ協会登別支部の人たちによって復活した儀式の様子」という説明を添えて載せたものです。

\* \* \*

「これはどういう儀式の写真なのですか？」とのお尋ねが当センターに寄せられました。

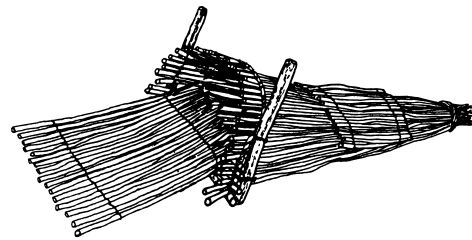
小冊子5では、26～28ページに、「いろいろな祈りごと」と題して、アイヌの伝統的な儀式をいくつか紹介しています。その中で、「サケを迎える儀式」として、「サケの漁期が始まる前にその年が豊漁になることを祈り、漁期の終わり頃には豊漁だったことを感謝する祈りをします」と書いています。この写真は、サケの漁期が始まるときの儀式について、その復活を目指して行われている行事の様子です。

\* \* \*

近年になって復活した儀式の中では、登別のよう、伝統的な漁労や狩猟に関連するものが多くみられます。これは、儀式そのものの学習・継承とともに、明治以降のアイヌが歩んだ歴史、特に、北海道開拓政策の下で、アイヌの伝統的な漁猟や狩猟が様々なかたちで制約を受け、生活や文化が大きな影響を受けた歴史を見直していこうという気運とも関わっているようです。

登別では、1987（昭和62）年に、これより先に札幌で行われるようになっていた行事ならに倣うかたちで計画され、伝統的な漁獲法の一つである「ラオマブ」（梁やなの一種）の製作・使用にも重点をおき、当初は行事の名称にも「ラオマブ」という呼び名を使っていました（小冊子5に掲載したのはこの当時の写真です）。その後、地元出身のアイヌ語研究者・知里真志保氏の論文「アイヌの鮭魚」（1959年）をもとに、行事の名称を、この論文の中で紹介されている「ペッカムイノミ」（pet・kamuy・nomi 川・神・まつり）に改め、今日に至っています\*。

ラオマブ（魚が中に入ると戻れなくなるようなしかけになっています）



萱野茂『萱野茂のアイヌ語辞典 増補版』（三省堂）より

\* \* \*

現在、サケなどの水産資源は、獲ることのできる場所、期間、漁法などについて、「漁業法」をはじめとする法令による規定が設けられています。

このような伝統文化の復興・継承の動きに伴い、儀式の実施や伝統的な漁法の習得などのために必要なサケについては、申請により、捕獲が許可されるようになってきています。2006（平成18）年度は、道内で、登別、札幌のほか千歳、釧路などで8団体が許可を受けています。

※登別支部のこの行事は、例年9月上旬に開催されています。平成19年度の日程については主催者にご確認ください。

※現在、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構により、この行事の内容をもとにした『アイヌ生活文化再現マニュアル』の作成が行われており、平成19年度末に刊行される予定です。

※『センターだより』第8号に、登別支部の上武和臣さんから、支部の取組に関するお話を伺った記事載せています。

## フィールドからデスクから 「ピリカ ピリカ」はアイヌの歌？

ピリカ	ピリカ	pirka pirka
タント	シリピリカ	tanto sirpirka
イナク	ピリカ	inankur pirka
ヌンケ	クスネ	nunke kusu ne
ヌンケ	クスネ	nunke kusu ne

道内の観光地や観光バスなどで、この歌を聞いたことがある人は少なくないと思います。「ピリカピリカ」「ピリカの歌」などのタイトルで知られ、1958（昭和33）年に歌手の雪村いづみさんがレコーディングして有名になりました。アイヌ語の歌としてはおそらく全国的に最もよく知られた曲といえるでしょう。この時のレコードの原曲は「アイヌ民謡」とされ、アイヌ音楽研究家の近藤鏡二郎（1913～1975）氏が白老町で採録したメロディであることがわかっています。

ところで、もともとこの歌詞に付くメロディはこれ一つではなく、道内各地でいろいろなメロディが伝承されていました。前述の近藤氏も、白老町には「二種類ある」と書き残しています注1。日本放送協会編『アイヌ伝統音楽』注2では、「ピリカピリカ」と同じ歌詞でメロディの違う曲の譜例が三つ掲載されており、この本のもとになった調査当時（1961～1962）にも様々な伝承のあったことがわかります。

\* \* \*

さて、アイヌの伝統的な音楽をいろいろ聞き慣れてくると、有名になった「ピリカピリカ」のメロディについて、「何となく他の曲と比べて感じが違う」「これは本当にアイヌの歌なのか？近年に作られたのでは？」と思う人もいるでしょう。というのも、この曲のメロディは西洋音楽でいう“短調”のような特徴を持った節回しで、そこがアイヌ音楽の他の多くの伝統的な曲と違うためです。

実際、誰それが「編曲した」「作曲した」という説もいくつか伝わっています。

例えば、前述の『アイヌ伝統音楽』17ページには、「ピリカピリカ」のメロディは「外人宣教師が部落の子ども達に教えた遊戯歌であることがあきらかになっており」と記されています。キリスト教の布教のために来道した外国人宣教師らは、賛美歌に

アイヌ語の訳詞をつけるなど、西洋音楽をアイヌ語で歌うことに日常的に関わっていましたから、アイヌの子どもから聞いた歌（詞）に編曲なり節付けするなりしたことも十分考えられます。同書390ページでは、「函館のアイヌ学校」での同じ歌詞の歌われ方についても触れています。これは、宣教師らがアイヌの子弟を集めて教育を行っていた時期からすると、明治の半ば頃と考えられます。

また、白老町にあるアイヌ民族博物館編の『アイヌ古式舞踊』注3には、「1920年頃現代風に編曲された」と書かれています。同博物館によると、白老町には「学校の校長先生がこの歌を作って教えてくれた」という方もいました、とのこと。この「学校」がアイヌの子弟が多く就学した「白老第二尋常小学校」だとすれば、年代は第五代校長・山本儀三郎氏の在任期間（1916～1937）と重なり、大正から昭和にかけての頃と考えられます。

\* \* \*

決定的なことは言えませんが、このように、現在歌われている、“短調”風の「ピリカピリカ」は、他の伝統的な歌と比べるとどうやら特別な成立のしかたをしているらしい、という見方ができます。

様々な伝承の中には何らかの人為的な手が加わったものがあっても不思議ではありません。しかし、そのことで「アイヌの歌ではない」ということにもならないでしょう。「ピリカピリカ」は、その後も合唱曲などに編曲されたり、「アイヌ民謡」として教科書に載ったりしてきましたし、今も観光地などで歌われています。アイヌの伝統曲をもとに、現代人に歌いやすいメロディを得て、多くの人々に長く親しまれてきた「ピリカピリカ」は、これからも愛され歌い継がれていくことと思います。

（研究職員 甲地利恵）

今も歌われているメロディーの一例



注1 近藤鏡二郎『民謡と解説物語 アイヌの歌』1960年、全音楽譜出版社

注2 『アイヌ伝統音楽』1965年、日本放送出版協会

注3 『アイヌ古式舞踊』1986年、財団法人アイヌ民族博物館

## 平成19年度から公開する資料について

### ■研究センター音声・映像資料

当センターの職員が各地の伝承者・体験者等から採録した資料や、寄贈や複写による資料を公開しています。19年度には、鶴川、平取、室蘭などで職員が採録した資料のほか、語り手の遺族から寄贈いただいた資料2点を含む、計22点（公開用資料23点）を新たに公開します。

### ■山田秀三文庫 音声資料

アイヌ語研究者として知られる金田一京助氏を囲んでの談話や、平賀さだ氏ら伝承者からアイヌ口承文芸やアイヌ語会話を採録した資料、アイヌ語研究者の知里真志保氏が妻の美枝氏と共にヒバリの鳴き声の歌を歌っている資料など、計15点（公開用資料9点）を新たに公開します。

### ■久保寺逸彦文庫 音声資料

アイヌ口承文芸やアイヌ民俗調査の資料から順に公開準備を進めています。19年度には、白糠、様似、鶴居、網走、釧路ほかで採録された民俗調査の資料計16点（公開用資料21点）を新たに公開します。

### ■山田秀三文庫 文書資料

根室や十勝ほかでの地名調査記録、アイヌ語会話やアイヌ語テキスト（公開する山田秀三文庫音声資料と関連しています）など計12点を新たに公開します。

#### 利用について

これらの資料は研究センターの閲覧コーナーで視聴や閲覧ができます。音声資料はコンピューターから直接聴くことができますが、映像資料は複製DVD、写真資料・文書資料はプリンターからの紙焼きを利用いただいています。  
なお、資料の複写は行っていません。

〔資料の内訳〕 \* 音声・映像資料を視聴する時は、公開用資料番号から検索・請求してください。

### 研究センター音声・映像資料

原資料番号	表 題	語り手(敬称略)	採録年月日	採録地	公開用資料番号
<b>職員採録資料</b>					
CC000349	平取町の伝承 14(その1) 同(その2)	上田トシ、鍋沢キリ	1996(平成8)年7月26日	平取町去場	CC800113
	上田トシ氏からウエベケレ1編、メノココカラ1編、ヤイサマ1曲を、鍋沢キリ氏からヤイサマ1曲を採録したもの。				CC800114
CC000350	平取町の伝承 15	上田トシ	1996(平成8)年9月25日	平取町旭	CC800115
	ウエベケレ1編とその日本語や解説などを採録したもの。				
CC000367	平取町の伝承 16、平取町の伝承 17	上田トシ、鍋沢キリ	1997(平成9)年2月28日	平取町旭、去場	CC800116
CC000369	上田トシ氏からウエベケレ1編、上田トシ氏と鍋沢キリ氏からヤイサマとウエベケレ2編を採録したもの。				
CC000373	平取町の伝承 18(その1) 同(その2)	上田トシ	1997(平成9)年4月25日	平取町旭	CC800117
	ウエベケレ「便所にお椀を入られたニシバの命を救った女の話」について、不明なアイヌ語の発音や意味などの確認を行ったもの。				CC800118
CC001370	平取町の伝承 19	上田トシ	2005(平成17)年7月15日	平取町本町	CC800119
	夢見のことや、「オハインカラ」や「オハイヌ」と呼ばれる現象について聞き取りしたもの。				
CC001388	山道康子さんの伝承 1	山道康子	2005(平成17)年6月24日	平取町二風谷	CC800120
	「オハイヌ」や「オハインカラ」という現象及び守り神についての体験談などを聞き取りしたもの。				
CC001376	山道康子さんの伝承 2	山道康子	2005(平成17)年10月21日	平取町二風谷	CC800121
	信仰や儀式について聞き取りしたもの。年寄りの行なった魔払いの儀式を見たときの様子やカムイノミに関することなどについて採録している。				
CC000421	三石地方の伝承 4(その1) 同(その2)		1995(平成7)年5月26日	三石町	CC800122
CC000422	歌や踊りに関する聞き取りのほか、ハルオンカミ、寡婦の習俗、熊送り、カムイノミ、古老の思い出、「ツツリ」の仕事の思い出などについて採録したもの。				CC800123
CC000450	鶴川に伝わるアイヌ文化：泉辰江さん(その1) 同(その2)	泉辰江	1996(平成8)年3月15日	鶴川町未広町	CC800124
	昔の春日地区(萌別)での暮らしや、祖父母の思い出、葬儀の習俗や魔払い、歌や踊りでの男性のかけ声、犬の名を呼ぶ歌などについて聞き取りを行ったもの。				CC800125
CC001380	鶴川に伝わるアイヌ文化：小石川セツ子さん 7	小石川セツ子	2006(平成18)年2月20日	鶴川町未広町	CC800126
	昔の歌や踊りの思い出、ホリッパの歌、ヤイサマ踊りの歌、子守歌の演唱や、アイヌプリの葬儀やライチシカム、寡婦の服装などについて聞き取りを行ったもの。				
CC000448	鶴川に伝わるアイヌ文化：笹村トヨさん 1(その1) 同(その2)	笹村トヨ	1996(平成8)年3月14日	鶴川町未広町	CC800127
CC000449-02	ウオボボやホリッパ、ヤイサマ踊、鳥の鳴き声歌、杵搦き歌の演唱や、熊送りの思い出、キツネ憑きを祓う儀式を手伝った体験などの聞き取りを行ったもの。				CC800128
CC000726	能登谷シゲさんの伝承	能登谷シゲ	1998(平成10)年9月3日	平取町荷葉	CC800129
	昔の福満での家屋の内外の様子や、家の中での座位置、間取り、チセノミなどについて聞き取りを行ったもの。				
CC000411	室蘭地方に伝わるアイヌ文化 1(その1) 同(その2)	磯辺マサ子	1995(平成7)年2月14日	室蘭市	CC800130
CC000412	伝承する歌についての解説や、踊りの踊り方、母の思い出などについてお話をうかがったもの。				CC800131
CC000505	黒川セツの伝承 8	黒川セツ、青木トキ、貝澤アサノ	1995(平成7)年8月22日	平取町貴氣別	CC800134
CC000506	アイヌ文化における植物利用などについて聞き取りを行ったもの。				
CC000754	三石地方の昔の暮らし：梶村隆さん	梶村隆	1998(平成10)年9月24日	三石町	CC800135
	昭和初期から終戦前後の頃のこと、特に当時の家屋の様子などについて聞き取りしたもの。				
<b>寄贈による資料</b>					
CC000306	木村うしもんかさんの口承文芸	木村うしもんか	1970(昭和45)年頃	平取町	CC800132
	平取町荷葉の木村うしもんか氏による、口承文芸や歌を録音したもの。				
CC001410	森崎幸雄さんのカムイノミ【映像資料】	森崎幸雄、森崎マツエ	1993(平成5)年1月3日	静内町	CC800133
	静内町田原に暮らしてきた森崎幸雄氏によるカムイノミなどの様子を撮影したもの。				

山田秀三文庫 音声資料

原資料番号	表 題	語 手 (敬称略)	採 録 年 月 日	採 録 地	公開用 資料番号
YC000017-03	白糠の地名と伝承：四宅ヤエ氏 白糠の地名やムツリノ演奏、歌などを録音したもの。萩中美枝氏による採録資料。	四宅ヤエ	1968(昭和43)年4月6日	白糠町	YC800027
YC000110 YC000111 YC000112 YC000113-01	金田一京助氏を囲んで：1964年8月 (1)同(2)同(3)同(4) 金田一京助氏を囲んで、金田一氏の研究の歩みとそれに関わる人々の思い出などを語ってもらったもの。	金田一京助ほか	1964(昭和39)年8月5日	札幌市	YC800028 YC800029 YC800030
YC000020	金田一京助氏を囲んで：1968年9月 金田一京助氏を囲んで、山田秀三氏、萩中美枝氏が懇談しているところを録音したもの。	金田一京助ほか	1968(昭和43)年9月1日	札幌市	YC800031
YC000023-01	金田一京助氏を囲んで：1969年10月 山田秀三氏、萱野茂氏、久保寺逸彦氏らが金田一京助氏を訪れ、それぞれの近況や金田一氏のアイヌ語研究の思い出などを懇談した時の録音。	金田一京助ほか	1969(昭和44)年10月19日	東京都	YC800032
YC000023-02	萱野さんの話：1969年10月 カムイノミのときのしきたり、特にお酒を注いだり回したりするときの所作や各々の役割などについて聞き取りを行ったもの。	萱野 茂	1969(昭和44)年10月20日	東京都	
YC000113-02	アイヌ口承文芸：貝澤とろしの氏 3 平取町二風谷出身の貝澤とろしの氏からカムイユカヰ1編とウエベケレ1編(冒頭の部分のみ)を採録したもの。	貝澤とろしのみ	1969(昭和44)年10月20日	(不明)	
YC000198	久保寺逸彦氏によるアイヌ語テキストの朗読 アイヌ語テキスト(歌と口承文芸)の朗読を録音したもの。	久保寺逸彦	(不明)	(不明)	
YC000035	旭川市での文化財保護協会総会より：杉村キナラブック氏の口承文芸ほか 杉村キナラブック氏による口承文芸の口演と、大塚一美氏、久保寺逸彦氏らによる解説などのようすを録音したもの。森竹竹市氏による発言も録音されている。	杉村キナラブックほか	1964(昭和39)年8月	旭川市	YC800033
YC000134	知里真志保氏、萩中美枝氏による「ヒバリの鳴き声」 知里真志保氏と妻の美枝氏による「ヒバリの鳴き声」をモチーフにした歌を録音したもの。	知里真志保、知里(萩)美枝	1970(昭和45)年6月14日	(不明)	
YC000011	アイヌ語の日常会話と女性の習俗：平賀さだ氏 アイヌ語の日常会話やいろいろな作法やしきたり、特に女性の習俗について聞き取りしたもの。萩中美枝氏による採録資料。	平賀さだ	(不明)	(不明)	YC800034
YC000108	アイヌ語会話 1 アイヌ語の会話表現について聞き取りしたもの。主に訪問時の挨拶のほか、用便に行くときの婉曲表現について語られている。	平賀さだ	1963(昭和38)年10月17日	登別市	
YC000135	アイヌ語会話 2 アイヌ語の会話表現について聞き取りしたもの。主に訪問時のやりとりなどについて、口承文芸(ウエベケレ)の中での挨拶の表現なども交えて語られている。	平賀さだ	(不明)	(不明)	YC800035
YC000194	アイヌ語会話 3 カムイノミの言葉(途中から)と、山田氏による、「人を訪問するときの話をしてほしい」との言葉(途中まで)のみが録音されている。	平賀さだ	(不明)	(不明)	

久保寺逸彦文庫 音声資料

原資料番号	表 題	語 手 (敬称略)	採 録 年 月 日	採 録 地	公開用 資料番号
KC000105-02	民俗調査と口承文芸 白糠 口承文芸や歌謡、昔の暮らし、送り儀礼などについて調査した際の記録。	四宅ヤエ	1968(昭和43)年7月20日	白糠町	KC800038
KC000045-02	民俗調査 様似 1 この地域の地名や、妊娠、出産などについて聞き取りしたもの。	澤田金次郎	1970(昭和45)年8月12日	様似町	KC800039
KC000041	民俗調査 様似 2 (A面)、同(B面) 葬儀に関することについて聞き取りしたもの。このほか、教育の問題や戦後の不良環境地区対策事業に関することなども語られている。	澤田金次郎	1970(昭和45)年8月12日	様似町	KC800040 KC800041
KC000040	民俗調査 様似 3 葬儀に関することについて聞き取りしたもの。このほか、教育の問題や戦後の不良環境地区対策事業に関することなども語られている。	澤田金次郎	1970(昭和45)年8月12日	様似町	KC800042
KC000107	民俗調査 鶴居 1(A面)、同(B面) 葬儀、出産、育児やお守り、イナウとヌサなどについて聞き取りしたもの。	八重九郎	1968(昭和43)年7月21日	鶴居村	KC800043 KC800044
KC000108-01	民俗調査 鶴居 2 結婚式、下紐、ふんどし、葬儀、方角、先祖供養などについて聞き取りしたもの。	八重九郎	1968(昭和43)年7月21日	鶴居村	KC800045
KC000111-02	民俗調査 網走 1(A面)、同(B面) 出産や育児の習俗などについて聞き取りしたもの。	古畑ハル	1968(昭和43)年7月24日	弟子屈町屈斜路	KC800046 KC800047
KC000112-01	民俗調査 網走 2(その1)、同(その2) 結婚や葬儀に関する習俗などについて聞き取りしたもの。	古畑ハル	1968(昭和43)年7月24日	弟子屈町屈斜路	KC800048 KC800049
KC000112-02	民俗調査 標茶 1 出産、育児、成長した男女の着物、家の寝床や神窓の方角などについて聞き取りしたもの。	土佐藤蔵	1968(昭和43)年7月24、25日	標茶町	KC800050
KC000113	民俗調査 標茶 2 女性の着物、結婚、葬儀などについて聞き取りしたもの。	土佐藤蔵	1968(昭和43)年7月25日	標茶町	KC800051
KC000102-02	民俗調査 釧路(春採) 1 いれずみ、妊娠と出産、子どもの命名などについて聞き取りしたもの。	床タミ、中村ミサオ、結城ヨシ、千里タツ、八重フサ	1968(昭和43)年7月	釧路市	KC800052
KC000103	民俗調査 釧路(春採) 2 (A面)、同(B面) お産、月経、下紐、モウル、結婚、葬儀、あの世のことなどについて聞き取りしたもの。	床タミ、中村ミサオ、結城ヨシ、千里タツ、八重フサ	1968(昭和43)年7月	釧路市	KC800053 KC800054
KC000105-01	民俗調査 釧路(春採) 3 昔の子どもの遊び、家を来訪するときのしきたり、月経、装身具などについて聞き取りしたもの。	床タミ、中村ミサオ、結城ヨシ、千里タツ、八重フサ	1968(昭和43)年7月	釧路市	KC800055
KC000108-02	民俗調査 旭川 4 お産に関する習俗、お守り、名付け方などについて聞き取りしたもの。	砂沢ベラモンコ	1968(昭和43)年7月22日	阿寒町	KC800056
KC000109	民俗調査 旭川 5 (A面) 育児、女性のいれずみや耳飾り、結婚などについて聞き取りしたもの。	砂沢ベラモンコ	1968(昭和43)年7月22日	阿寒町	KC800057
KC000109	民俗調査 旭川 5 (B面)、同 6 結婚、葬儀、寡婦の習俗、月経に関することなどについて聞き取りしたもの。	砂沢ベラモンコ	1968(昭和43)年7月22日	阿寒町	KC800058

山田秀三文庫 文書資料

原資料番号	表 題	資 料 の あ ら ま し
YF0066-01 YF0066-02 YF0066-03	北海道蝦夷語地名解 索引 I、II、III	永田方正『北海道蝦夷語地名解』の各項目を、見出し語ごとに全て切り抜き、アルファベット順に配列し直してノート3冊に貼り付けた資料。
YD0122	SPOKEN AINU	アイヌ語の日常会話などのテキストをまとめた資料。
YD0124	久保寺博士資料	久保寺逸彦氏による講義記録や関係資料をまとめたもの。
YF0417	北海道 根室 昭和36年7月	1961(昭和36)年7月に、根室市街とその周辺、ノサップ岬、厚床、西別川筋のアイヌ語地名を調査した記録。
YF0418	「北海道 十勝川筋」	1970(昭和45)年10月に、十勝川筋と利別川筋のアイヌ語地名を調査した記録。
YF0423	「十勝 広尾」	1973(昭和48)年と1977(昭和52)年に、十勝の広尾とその付近のアイヌ語地名を調査した記録など。
YF0472	分類 東北の内	東北地方の「内」(ナイ)の付く地名を、カード形式で50音順にまとめた資料。
YF0473	東北の内 集録	東北地方の「内」(ナイ)の付く地名を、カード形式で県・郡・市町村ごとにまとめた資料。
YF0496	標津 昭和62年	1987(昭和62)年7月の根室管内標津町での講演と、その前後に付近の地名を調査したときの記録。
YM1324	ルヘモツ、トマイ、テシホ三場所境界地図	ルルモツ(留萌)からテシホ(天塩)までの日本海沿岸と天塩川の川筋などを描いた地図。

## 寄贈を受けた資料

(2006年9月～2007年2月)

発行者の50音順に資料名を掲載しました。寄贈していただいた方々・機関にお礼を申し上げます。

### 愛知県公文書館

・愛知の港

### 愛知県公文書館

・愛知県立公文書館だより 第11号

### アイヌ語地名研究会

・アイヌ語地名研究会会報 第28号

### 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

・平成17年度 財団の活動

・平成18年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3、4

・アイヌ文様的美 線のいのち・息づくかたち

・第10回アイヌ語弁論大会報告書

### アイヌ無形文化伝承保存会

・アイヌ文化 ことば・語り・祈りの世界から (DVD)

### 秋田県公文書館

・平成18年度 秋田県公文書館企画展 秋田藩の海防警備

### 旭川市博物館

・みゆじあむ 旭川市博物館だより 第23号

・旭川市博物館研究報告 第12号

・旭川市博物館所蔵品目録 X VI 民族資料/儀礼関係:捧酒箸

### 朝日町歴史博物館

・平成18年度企画展 郷土の人 橋守部

### アジア・太平洋人権情報センター

・国際人権ひろば No.68～71

### いしかり砂丘の風資料館

・エスチュアリ いしかり砂丘の風資料館だより NO.25、26

### 恵庭市郷土資料館

・恵庭市郷土資料館年報 12

### 小樽商科大学言語センター

・言語センター広報 第15号

### 帯広叢書編集委員会

・虻田第二尋常小学校同窓会資料 3

### 神奈川大学日本常民文化研究所

・奥会津地方の職人巻物 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第20集

・神奈川大学日本常民文化研究所 2006年度

・民具マンスリー 第39巻4号～11号

### 上士幌町ひがし大雪博物館

・上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第28号

### 上ノ国町教育委員会

・史跡 上之国勝山館跡X X VI

・町内遺跡発掘調査事業報告書 VIII～X

・たずねてみよう エゾガ島の中世

・勝山館とその時代 菅江真澄と上ノ国 [DVDビデオ]

### 釧路アイヌ文化懇話会

・アイヌと虫の生活誌 (井上寿著)

・会報 久摺 第247号

### 釧路市立博物館

・釧路市立博物館々報 No.391～394

### 群馬県立文書館

・群馬県立文書館 文書館だより 第44号

### 航空科学振興財団歴史伝承委員会

・歴史伝承委員会だより 第5、6号

・土・くらし・空港:「成田」40年の軌跡 1966-2006

### 高知県牧野記念財団

・高知県立牧野植物園だより No.27、28

### 弘南堂書店

・北方関係を主にした弘南堂古書目録 第47号

### 神戸市立博物館

・博物館だより No.90

### 国立民族学博物館

・国立民族学博物館研究報告 第31巻 第1号、2号

・民博通信 No.114、115

・研究年報 2005 [国立民族学博物館]

・MINPAKU Anthropology Newsletter No.23

### 札幌市、札幌市教育委員会

・札幌の歴史 第51号

### 札幌市文化資料室

・文化資料室ニュース 創刊号

### サッポロ堂書店

・古書目録31 北海道文献目録2006

### 沙流川歴史館

・沙流川歴史館だより No.23、24

### 滋賀県立琵琶湖博物館

・うみんど 琵琶湖博物館だより 第40号、41号

・滋賀県立琵琶湖博物館 研究部10年の歩み

・企画展でふりかえる 琵琶湖博物館の10年

### 滋賀大学経済学部附属史料館

・平成18年度企画展 近江の街道と宿場のまちなみ

### 標茶町郷土館

・標茶町郷土館報告 第18号

・郷土館だより 第29号

### しまねミュージアム協議会

・しまねのミュージアムガイドブック しまねのミュージアム探検隊 77の謎に挑戦!

・しまねのむかし発見 むかししまね資料館

### 社会福祉研究センター

・草の根福祉 第38号

### 斜里町・斜里町教育委員会

・しれとこライブラリー7 知床の植物II

### 斜里町立知床博物館

・知床博物館研究報告 第27集

・知床博物館第28回特別展 図録

### 来連1 遺跡

・博物館のひろば No.96 斜里の鉄道

・博物館のひろば No.97 斜里・知床のネコノメソウ

### 城西国際大学物質文化研究センター

・物質文化研究 第3号

### 真宗大谷派総務部

・人権週間ギャラリー展 差別と戦争II 民族差別と同化政策

### 世界人権宣言大阪連絡会議

・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.288～294

### 瀬戸内町教育委員会

・瀬戸内町文化財調査報告書 第1集 瀬戸内町遺跡詳細分布調査報告書

### 先住民族の10年市民連絡会

・先住民族の10年News 第127号～131号

### 仙台藩白老元陣屋資料館

・仙台藩白老元陣屋資料館報 第12号

### 高木任之

・尾張徳川家による 北海道八雲村の開墾

### 高崎市染料植物園

・アイヌ女性の手仕事:織・編・繡

### 伊達市噴火湾文化研究所

・Newsletter噴火湾文化 第2号

### 知多市歴史民俗博物館

・知多市歴史民俗博物館年報 第7号

### 千葉大学ユーラシア言語文化論講座

・千葉大学ユーラシア言語文化論集 第9号

### つな出版

・網布[あんぎん]の発見 織物以前の衣料

### 出村文理

・ニール・ゴードン・マンロー博士 書誌

### 天理大学附属天理参考館

・天理参考館報 第19号

・資料案内シリーズ No.28 日本調査隊の軌跡 テル・ゼロール出土遺物 I

### 東京アイヌ史研究会

・《東京・イチャルバ》への道:明治初期における開拓使のアイヌ教育をめぐって

### 東京都江戸東京博物館

・東京都江戸東京博物館研究報告 第12号

・江戸東京博物館NEWS Vd.55、56

### 東北学院大学東北文化研究所

・東北学院大学東北文化研究所紀要 第38号

### 東北大学東北アジア研究センター

・慶応義塾図書館所蔵『新刻増補批評全像西遊記』の研究と資料(上)

・東北アジア研究センター叢書第19号

・『御書御朱蒙古漢字三合切音清文鑑』モンゴル語配列対照語彙 東北アジア研究センター叢書第20号

・Magmatic Response to the Late Phanerozoic Plate Subduction

- beneath East Asia 東北アジア研究センター叢書第21号
- 東北アジア研究センターシンポジウム 開国以前の日露関係 東北アジア研究シリーズ7
  - 三人の大統領とロシア : ベレストロイカ、ソ連崩壊、再興 東北アジア・アラカト 第16号
  - 東北アジア研究 第10号
  - 東北大学東北アジア研究センターニューズレター CNEAS 第30号
- 東北電力広報・地域交流部**
- 白い国の詩 通巻596号、597号
- 十日町市博物館友の会**
- 縄文からのメッセージ 図説 越後アンギン
- 遠野市立博物館**
- 遠野市立博物館第53回特別展 遠野、この郷の記憶
- 遠野物語研究所**
- 遠野物語研究 第7号
- とかちエテケカンパの会**
- とかちエテケカンパの会だより 2006年度
- 徳島県立文書館**
- 第32回企画展 徳島近代交通史
  - 特別企画展 庚午事変の群像
  - 文書館だより 第27号
- 苫小牧駒澤大学**
- 苫小牧駒澤大学紀要 第16号
- 苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所**
- 環太平洋・アイヌ文化研究 第5号
- 富山県 [立山博物館]**
- 平成18年度特別企画展 立山と真宗 : 御絵伝がつなぐ二つの世界
- 長野県立歴史館**
- 長野県立歴史館だより Vol.48、49
  - 秋季企画展 戦時下の子どもたち
  - 平成18年度 秋季企画展図録 戦時下の子どもたち 信州の十五年戦争
- 南方新社**
- 奄美学 その地平と彼方
- 二風谷アイヌ語教室**
- 二風谷アイヌ語教室 広報紙第83号、84号
- 沼津市明治史料館**
- 図録 近世近代沼津医療事情
  - 沼津市明治史料館通信 Vol.22 No.1~4
- 函館市総務部市史編さん室**
- はこだて 市史編さん室だより No.7
- 函館市文化・スポーツ振興財団**
- 華麗なアイヌ衣装の世界 : 見玉コレクション
- 反差別国際運動日本委員会**
- IMADR-JC通信 No.144~146
- 藤女子大学国語国文学会**
- 藤女子大学国文学雑誌 75
- 船橋市郷土資料館**
- 船橋市郷土資料館 小企画展示
- 資料観覧のてびき 暮らしの道具
- 船橋市郷土資料館 小企画展示 資料観覧のてびき 川底から発見された土器
  - あれから60年 戦争の時代をこえて 船橋市郷土資料館第71回展示
  - 資料館だより 第86号、87号
- 部落解放・人権研究所**
- 研究所通信 No.337~342
- 文化学園図書館**
- 図書館だより No.143
- 北海学園大学**
- 第4回日露国際シンポジウム グローバル化のものとでの北方地域における環境、文化、大学の変化と発展
- 北海学園大学学芸員課程**
- 北海学園大学学芸員課程学事報告書 1~11
- 北海学園大学学術研究会**
- 北海学園大学学術論集 第129号、130号
- 北海道遺産構想推進協議会**
- 北海道遺産
- 北海道ウタリ協会**
- 2006国際先住民の日記念事業報告書
  - 平成17年度世代間交流事業報告集
- 北海道ウタリ協会伊達支部**
- 平成18年度アイヌ工芸作品展
- 北海道開拓記念館**
- 北海道開拓記念館だより Vol.36 No.1、2
  - 第62回特別展 北の縄文 美の世界
  - 北海道開拓記念館第145回テーマ展 北の手仕事 [豆本]
- 北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会**
- 北海道博物館史料
- 北海道環境財団**
- 北海道環境サポートセンター月刊 ニュースレター No.107~111
- 北海道教育委員会**
- 平成17年度 知里真志保フィールドノート (5)
  - 平成17年度 アイヌ民俗文化財調査報告書 (伝承聞き取り調査II)
  - 平成17年度 アイヌ民俗文化財調査報告書 (ユーカーラシリーズ28)
- 北海道大学**
- 北海道大学シンポジウム 先住民族と大学 報告集
- 北海道大学総合博物館**
- 北海道大学総合博物館ニュース 13号、14号
  - Biodiversity and Biogeography of the Kuril Islands and Sakhalin Volume2
- 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園**
- 北大植物園研究紀要 第6号
- 北海道文化財保護協会**
- 文化情報 第293号~298号
- 北海道埋蔵文化財センター**
- 江別市対雁2遺跡(8) 北海道埋蔵
- 文化財センター調査報告書231
- 北斗市 矢不來7遺跡・矢不來8遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書232
  - 森町 三次郎川右岸遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書233
  - 森町 森川3遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書234
  - テエタ 北海道埋蔵文化財センターだより 第16号、17号
  - 北海道立埋蔵文化財センター年報 7平成17(2005)年度
- 北海道立衛生研究所**
- 北海道立衛生研究所事業年報 平成17年度
  - 北海道立衛生研究所報 第56集
- 北海道立工業試験場**
- 北工試だより Vol.29 No.3、4
- 北海道立農業試験場**
- 北海道立農業試験場資料 第36号
  - 北海道立中央農業試験場年報 平成17年度
  - 北海道立農業試験場報告 第112号
  - 北海道立農業試験場集報 第90号
- 北海道立北方民族博物館**
- 第21回特別展 環北太平洋の文化I コリヤーク : ツンドラの開拓者たち
  - 北方民族博物館だより No.62、63
- 北海道立文書館**
- 赤れんが 北海道立文書館報 No.42
- 北海道歴史研究会**
- 北海道れきけん 第62号
- 盛岡市先人記念館**
- 盛岡市先人記念館だより No.37
- ヤイユーカーラの森**
- Yay Yukar Park 54、55
- 八重山文化研究会**
- 八重山文化論集 第3号
- 柳田国男歌碑建立期成会(石垣市)**
- 柳田国男 歌碑建立記念誌 たから貝
- 余市水産博物館**
- 海に生きるアイヌ民族 第32回余市水産博物館特別展
- 【海外】**
- 中央研究院民族学研究所**
- 台湾人類学刊 第4巻第1期
- 中国社会科学院**
- 世界民族 第58巻第1号~6号
  - 民族研究 第159号~164号

## 行事など

当センターでは、平成16年度から、企画展「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から」を道内各地で開催してきました。平成19年度は、日高・胆振地方の関連資料の紹介を中心に、苫小牧市・室蘭市・伊達市で開催します。

詳細は、追ってチラシやポスターのほか、当センターのホームページでお知らせします。

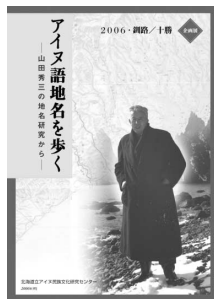
### 平成19年度の企画展

## 「アイヌ語地名を歩く」

— 山田秀三の地名研究から —

#### ■ 場所・期間 \* 入場無料

- ・ 苫小牧市立中央図書館  
9月2日(日)～9月22日(土)
- ・ 室蘭市文化センター  
9月27日(木)～10月8日(月)
- ・ 伊達市  
だて歴史の杜カルチャーセンター  
10月11日(木)～14日(日)



平成18年度企画展の図録より

#### ■ 関連事業（講演会・講座） \* 入場無料

- 9月2日(日) 15:00～ 苫小牧市立中央図書館  
「山田秀三文庫の地名調査資料について」 センター職員  
「近世のアイヌ語資料『もしほ草』について」  
佐藤知己(北海道大学助教授)
- 9月8日(土) 15:00～ 苫小牧市立中央図書館  
「アイヌの物語世界と地名(仮題)」  
中川 裕(千葉大学教授)
- 9月29日(土) 15:00～ 室蘭市文化センター  
「山田秀三文庫の地名調査資料について」 センター職員
- 10月6日(土) 15:00～ 室蘭市文化センター  
「上と下 —アイヌの地理的認識— (仮題)」  
切替英雄(北海学園大学助教授)
- 10月13日(土) 15:00～ だて歴史の杜カルチャーセンター  
「伊達地方のアイヌ語・アイヌ文化(仮題)」  
佐藤知己(北海道大学助教授)  
本田優子(札幌大学助教授)  
伊達市噴火湾文化研究所職員  
センター職員

## センターの刊行物

平成18年9月から平成19年3月までに、この『センターだより』26号のほか、次の刊行物を発行しました。

### 『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』13号

(以下は表題と執筆者名です)

【論文】 再びアイヌ語千歳方言の аспекトについて

— 特に完了を表す形式をめぐって — 佐藤知己

【研究ノート】 樹皮を剥ぎ残すという言説をめぐって

— 更科源藏の記録に基づく一考察 —

本田優子

【資料紹介】 伊達市噴火湾文化研究所蔵の

ジョン・パチラー関係資料 2

大島直行、黒田格男、古原敏弘、小川正人

【資料紹介】 北海道立図書館蔵マイクロフィルム

「金田一京助 採録ユウカラ・ノート」の細目次

林 誠

【資料紹介】 アイヌ文献目録2005 アイヌ文献目録編集会

・『研究紀要』は、北海道行政情報センター(道庁別館 3F/011-231-4111内線22-389または011-241-7979)で有償頒布しています。

・『センターだより』は、当センターのホームページでもご覧いただけます。26号は発行日から約2週間後に掲載します。

## 平成18年度後半の動き

#### ■ 人事短信

- ・ 石川 徹 副所長転任(11月)
- ・ 長谷川 美代子 副所長着任(11月)

#### ■ 行事など

- ・ 企画展「アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—2006・釧路/十勝(帯広市)(9~10月)
- ・ 講演会「古地図の世界」(帯広市/講師:高木崇世氏[アイヌ語地名研究会会員])(10月)
- ・ 「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」調査(札幌市/参加:古原)(11月、12月)
- ・ 国立公文書館実務担当者研究会議(東京都/参加:小川)(1月~2月)
- ・ 帯広アイヌ語教室(帯広市/講師:澤井)(3月)

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2007年3月26日

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1-7 5F

Tel.011-272-8801(代) Fax.011-272-8850

月~金/9:00~17:00(土・日・祝日/休)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>

この広報紙は、環境に配慮した用紙を使用しています。(古紙配合率100%、白色度70%)